



みさき 議会だより



第108号 平成29(2017)年 7月号

主な内容

- 6月定例会：一般会計補正予算……………2
- 常任委員会の審査状況……………3
- 議会報告会……………4
- 議員4人が一般質問……………6
- 町民登壇・議案の賛否……………10

楽しい水あそび

(待ちに待ったプール開き
竹田保育園)

6月
定例議会

一般会計補正 (1,350万円の追加)

主なもの

- 中学生手作り訪仏事業（中学生のフランス派遣）
- コミュニティー助成事業補助金（みささ村協議会の音響設備）
- 三徳地区多目的研修会施設一般経費（エアコン修理）
- 国内交流都市観光誘致対策事業（滋賀県多賀町との調印式）
- 町指定文化財保存・保護事業費補助金（曹源寺改修補助）
- 竹田地区体育館一般管理経費（大雪による屋根の破損修理）
- 調理センター施設改修費（回転釜の更新）
- 地域共同施設災害復旧事業（地震による生活道破損箇所の復旧）



竹田地区体育館



三徳地区多目的研修会施設

日
程

- 6月8日（木） 本会議（議案上程、提案説明）・委員会（総務教育・産業民生）
- 6月9日（金） 一般質問（通告者4名）
- 6月12日（月） 総務教育常任委員会
- 6月13日（火） 産業民生常任委員会
- 6月14日（水） 本会議（議案に対する質疑）・全員協議会・委員会（広報）
- 6月16日（金） 本会議（議案審議、討論・採決、委員長報告、議員提出議案審議・採決）

常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

教育総務課

中学生手作り訪仏事業 (323万円)

(委員) ヨーロッパに於いてテロ行為が頻発しているが連絡体制等の準備は。

(回答) 衛星回線の携帯電話で密に連絡を取り合うようにしている。

(委員) 引率教員の授業保障等はどうになっているか。

(回答) 時間割調整で対応します。

調理センター施設改修 (1,268万円)

(委員) 回転釜が使用出来ない状態にあるということだが、現在、どのように対処しているか。

(回答) 全部で4台あるうちの1台が稼働できない状態なので、3台で対応できる献立で対処している。



調理センター回転釜

社会教育課

町指定文化財保存・保護 事業費補助金 (92万円)

(執行部) 曹源寺の寺が町の有形文化財に指定されたことに伴い、本堂の床下改修に係る費用の補助をしたい。また、今後の改修についても補正で対応したい。



町の文化財に指定された「曹源寺」

産業民生常任委員会

建設水道課

財産の取得について (除雪トラック) (取得契約額6,720,160円)

(委員) 今までは2トントラックだったが、今回取得するのは除雪専用車両か。

(回答) 今回のような大雪にも十分な対応が可能になるよう専用車両で除雪の効率化を図るため専用車両とします。

農林課

鳥獣被害総合対策事業費 補助金 (51万円)

(委員) 柵の補助事業は農林被害のみが対象か。例えば民家の庭先に入らないための柵の補助など検討してもらいたい。

(回答) 今回の補正は農林被害対策のものだが、そのような対策が必要であれば検討していきたい。

(委員) ジビエのブランド化に向けて町としてどのように考えているか。

(回答) 狩猟、肉処理、流通、加工、料理関係など関係者すべてが参加した会議で、特に強調されたのが、肉が安全なものになればならないこと。今後こうしたことに留意しながら考えていく必要性を感じた。

企画観光課

コミュニティー助成事業 補助金 (250万円)

(委員) コミュニティー助成事業の250万円の財源はどこから出ているのか。

(回答) 財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業が財源となっています。



除雪トラック (イメージ)

第1回

平成29年度 議会報告会

今回は5地域協議会で議会報告会を開催しました。
報告会では各常任委員会での審査状況や平成29年度の予算審査の状況説明と質疑応答、意見交換会を行いました。

今回の各協議会での関心が高かった事項は、
①鳥獣被害対策 ②小学校統合 ③地域自主活動支援金
等で、住民の方々の関心も高く盛り上がりのあった意見交換が出来ました。各地域協議会で出ました意見等を紹介させていただきます。



【鳥獣被害対策】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・ 猟師の数が減少、増やす対策を。鳥獣の駆除交付金が他市町村より低い。同じように援助を願う（小鹿）	・ 猟師の人数確保は持ち帰り対策協議 ・ 1匹の駆除助成金は産業民生常任委員会で協議
・ 猪の解体施設は誰でも使えないか（みささ）	・ 猟友会が使用。一般の人は使えない
・ そんなに捕れていないと思うが？（竹田） ・ 猟師などでの情報交換が必要ではないか？（竹田）	・ 猪：470頭 ・ 鹿：200頭 ・ ノートリア：数頭 ・ 6月の委員会で報告します
・ 熊が出てくる前の対策をして頂きたい（賀茂）	・ 産業民生常任委員会で検討します

【小学校統合】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・ 現在までの経過を知りたい（竹田） ・ 3月から今日までどうなっているか？（同）	・ 現在、教育委員会で新小学校の教育ビジョンを作成中 ・ 近々に教育委員会との懇談会を予定
・ 教育委員会が悪いと言うのではなく、議会も一緒になって協議するべき（竹田） ・ 頻繁に集まって議論すべき。早く結論を（同） ・ 竹田住民は早く統合して頂きたいと思っている	・ 学校統合準備委員会に議会は入っていません ・ 議会も執行部も一緒にやっていくべきと思う ・ ふるさと納税も学校建設の基金として積み立てている ・ こういう結果になったことには議会も責任を感じている
・ 三徳と小鹿のアンケートの結果、統合した方がいいと教育委員会に報告。議会と教育委員会と連携して前進出来ないか（三徳）	・ 統合について議会は決める場ではない。特別委員会を設置して提言。町民に理解を求め新築統合すべし
・ 統合問題はやり方がちぐはぐ。こども園が出来、東小へ入る事はない。教育委員会も議会への説得が見えない。準備委員会は何をしていたか（三徳）	・ 町民に理解を得、議会も納得した上で新築統合していくべき
・ 議会は義務教育学校か小中一貫校か明確に（三徳）	・ 議会も議論します

【地域自主活動支援金】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・ 地域自主活動支援金200万円は有難い。町の受け皿となっているが、どのような認識か（小鹿）	・ 町の説明では「高齢者の見守り」部分も含む ・ 議会は地域協議会を町の受け皿とは考えていない
・ 予算については、町、地域でやるものがあるが、集落の活性化が第一、集落で使える予算を（小鹿）	・ 具体的に困っている内容を示して欲しい

【その他】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・ 遥拝所から杉の木が大きく投入堂が見えない。望遠鏡が老朽化、早急に改修して頂きたい（小鹿）	・ 執行部説明では平成30年買い上げ予定 ・ 望遠鏡については県か町か設置者不明
・ 三徳山買い上げはどのあたりか（みささ）	・ 合谷部落の裏山です
・ すこやか乳児家庭保育事業は鳥取県全域か（竹田）	・ 鳥取県の事業。14市町村が実施 ・ 2歳までの乳児を保育している家庭が対象
・ 三徳山を守る会の総会に議員の参加がない（小鹿）	・ 議員として案内がない



開催日時	開催場所	参加人数
5月15日（月）	バンビセンター	10
5月17日（水）	みささ村公民館	19
5月29日（月）	竹田地区公民館	11
5月30日（火）	三徳センター	16
6月30日（金）	賀茂地区公民館	18

【その他】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・地籍調査終了は10年と聞く。早くして欲しい（竹田）	・国の予算。20年位かかる場所が多数ある。6月議会の委員会で報告する
・プランナールの契約内容は。今後支出があるか（みささ）	・11億円は町が支払いする。今後は発生しない
・たくさんの観光資源があるが、トイレがない（みささ）	・三朝町をアピールするには置くようにしなければ
・高額なタンク付消防自動車が必要か（賀茂）	・20年目に更新。地域の安全を守る為に必要 ・泡消火、水と比べ10倍消火時間が長持ち
・消防自動車の購入は見積もりを取るのか（小鹿）	・入札します
・昼間の災害時消防団員は不在。OBの消防団員が頼り。昼と夜の消防体制を考えて頂きたい（賀茂）	・検討材料として議会でも検討します
・恋谷の除雪、いつも5時半頃だが、今回10時頃だった（みささ）	・夜中も除雪している。除雪体制を考えなければ
・議会だよりの予算説明をもっと分かりやすく、内容を充実してほしい（予算金額を具体的に）（賀茂）	・広報委員会で検討していきます
・多目的展示施設の集客効果はどれくらい？（賀茂）	・予算は屋根修理に2,700万円
・多目的展示施設の管理料は1,800万円だが、収入は？（みささ）	・分かりません
・小学校でふるさと納税、税金の使われ方の学習をしては（賀茂）	・産業民生常任委員会で検討致します
・ふるさと納税のお礼は宿泊券なので、来町出来ない納税者にとっては「価値がない」ものになる。農産物、特産物を考えるべき（同）	・町のスタンスが「来て頂くこと」となっています
・ふるさと納税に、努力している町は納税額が高い（同）	
・議員として返礼品についてアクションして頂きたい（同）	

【意見交換会】

《地域住民の意見》	
<ul style="list-style-type: none"> ・1日でも早く統合して頂きたいのが本音（竹田） ・東小の場合と南小は大きく違っている（同） ・一番大事なのは子どもです（同） ・10月までに方向性を出して頂きたい（同） ・地域の端にいる集落に町や国の目が向いてない（同） ・竹田地域も人口が減り、中津のように区長も置かず、必要な連絡のみとなる可能性大（同） ・今後20年、30年地域がサポート出来るようにして行く事が大事。50万円は有難い（同） 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会が評価されていない（小鹿） ・議員の個人の意見が聞けるようにして頂きたい（同） ・「町づくりのビジョン」を聞かせてください（小鹿） ・町報は旅館にも置くべき（みささ） ・子ども達が町のスポーツ施設を使用するのにお金を支払っている（みささ） ・高齢者がグラウンドゴルフするのに無料はおかしい。少しは使用料を取るべき（みささ）

人口対策

問 外部から家族全員で移り住める快適な環境作りが必要だと考える

答 今後の政策立案、事業展開に向け、大いに参考にさせていただきたい

○三朝町の現状認識

清水

人口7,000人を切ったときの思いは？

町長

人口減少に向かっていく事への戦略をどのように整えていくのか、また、子ども達に「帰ってきなさい。」という運動を強く行っていく必要があると思っている。

○危機意識の課題

清水

村の存続について、地域住民の皆様は、議員や執行部が思っている以上に危機感を持っておられると思うが？

町長

村の皆さんにしっかりと目を向けて計画し、実行していると思っている。

○思いの格差があるのでは？

清水

実際には「村の端にいと、全然目を向けられていない気がする。」という発言があり、私たちが思っている以上に、地域住民と行政との思いの格差があると思う。

町長

情報の伝達が、少し足りていないのではないかと。広報のあり方について工夫をしていかなければならないと思う。

○今後の対策として

清水

人口を守っていく、増加させていく為には「人を育てる」事に予算をつぎ込むべきだと考えるが？

町長

高等教育終了まで、誰でも財政的な負担なく行けるよう国に対してしっかりと運動を展開していきたい。

○活力ある集落を作っていくために

清水

ある町民の方から「町の予算は、町全体と地域に限られているが、集落に対する予算があれば、何か考えるし、元気になると思う。」という意見があった。

町長

「キラリと光る町づくり交付金」を活用していただきたい。相談があれば、しっかりと支援をしていきたい。

清水

「キラリと光る町づくり交付金」は、非常に使いにくい。そうではなく、なんの制約もない予算をつけていただくと起爆剤になり、それが地域の発展に繋がっていくと考える。

○移住定住について

清水

家族全員で移住するということは、生活基盤、教育、高齢者福祉、生活環境など全てを一体的に考えなければならない。それが、総合戦略でなければならない。

町長

その通りだと思う。努力していきたい。

○仕事の考え方

清水

三朝町に移住したいと希望する人が、仕事があるのかと探すのではなく、自分で仕事をおこ



清水成真議員

していき、つまり「起業できる町づくり」を推進していくべき。

町長

「どんなに奥部に住んでいても、商売できますよ」という事を売り込みにさせていただいた事業もあった。本町で頑張っている会社に対してもしっかりと応援していきたい。

○見えないところに素晴らしいものが

清水

最近、外国人ツアーで、「中津」の集落を案内している。日本の原風景ということで人気だそうです。このような地域資源を最大限に活かしていく知恵と工夫が必要ではないか？

町長

同感です。

○資源を流通していく仕組みを

清水

地域資源を有効に流通させていく仕組みを作ることが大切であり、そのためには「人づくり」です。今の職員体制ではなかなか無理なので優良な企業から、人口増加に対するご意見や提案をいただく事も考えてはどうか？

町長

ご意見を頂戴したいと思う。

健康寿命

問 町民、特に高齢者の健康寿命を延ばして医療費の削減・抑制を

答 関係機関の連携で効果のある取り組みをしたい

○介護保険利用者は年々増加、支出額は年4、5千万増加

山口

介護保険の支出額は年4、5千万円ずつ増加し、介護保険・後期高齢者保険・国民健康保険への一般会計からの繰り入れは増加の一途をたどっている。

○各保険の給付は年々増加し、今後も増加と推計

町長

長寿命化で介護保険、後期高齢者保険、国民健康保険に係る給付は増加傾向であり、今後さらに増加が想定される。

今後医療関係費の削減、抑制のための施策が重要となってくる。

○「100歳元気な町づくり」の三朝にとって健康寿命の延伸が重要

山口

「100歳元気な三朝町を標榜する三朝町」にとって町民、特に高齢者の健康増進、健康寿命の延伸策は重要になる。

高齢者の健康増進、健康寿命延伸で医療費削減・抑制につながることを期待される。



ラドン体操

○「増やそう元気、減らそう病気」をキーワードで取り組んでいる

町長

総合計画で「増やそう元気、減らそう病気」をキーワードに町民への健康づくり支援策を展開している。

○町民、特に高齢者の健康増進・健康寿命延伸策の充実を

山口

担当課ではノルディックウォークや健康マイレージ制度、出前健

康教室等で努力していますが、さらに高齢者が参加したくなる、参加しやすい新しいメニューの提供と既存取り組みの充実が必要である。

○既存の取り組みは町民の運動習慣化、生活習慣改善の推進

町長

既存の健康支援策は、町民の運動習慣化や生活習慣改善を推進するもので、年齢に関係なく継続で元気な高齢者へとつながるものと考えている。



ノルディックウォーク

○教育委員会の社会体育、生涯スポーツやスポーツ推進委員の活用を

山口

高齢者の健康増進、健康寿命延伸に資する高齢者向けの軽スポーツの紹介や提供をスポーツ推進委員に希望する。

○高齢者のスポーツ推進委員を教育長

何時でもどこでもだれでもの生涯スポーツの観点から昼夜を問わず、健康増進の機会を提供することは大切である。

高齢者にスポーツを楽しんでいただくため、高齢者自らスポーツ推進委員として活躍していただきたい。

○町民健康寿命延伸協議会(仮称)の設置を

山口

子育て健康課、教育委員会、総合スポーツセンター、スポーツ推進委員の活動をより効果あるものとするためにそれぞれの英知を結集、組織化して健康増資、健康寿



山口 博議員

命延伸を進めるための「町民健康寿命延伸協議会」(仮称)を設置してはどうか。

○組織化については関係者で検討を

町長

各種事業の実施については関係者、関係機関が協議して実施している。

組織化の提案については関係先と検討を加えていきたい。



スポーツセンターでの活動

○各種取り組みのPRとスポーツ施設等の有効活用を

山口

多くの有効なメニューがありながらPRが不足しているのではないかと。

また、スポーツセンターでは専任の指導者が不在で十分利用されていないように感じている。

高齢者が利用しやすい方策を考えるべきでは。

○利用要望については応えたい

町長

スポーツセンターの利用については、観光協会と話し合って要望に応えたい。

地域

問 地域活性化における地域おこし協力隊、集落支援員の活用について

答 地域の活動を高める活動を積極的に応援

○地域おこし協力隊2人の活動と効果の評価は

中信

総務省の地域力の創造、地域の再生では、人口減少や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住、定着を図る事は都市市民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化に資する取り組みに有効な方策として地域おこし協力隊、集落支援員、復興支援員、外部専門家、地域おこし企業人の制度がある。三朝町では2人の地域おこし協力隊の導入。活動と効果の評価は。

町長

観光分野では三朝温泉開湯850年記念事業の取り組み、地域資源の観光商品化に向けた仕組みづくり、情報発信、新たな視点での事業展開が図れたと思う。農業分野では三朝米の商品化と販売促進。新たな事業展開等。観光と農業という主観産業で関連性の高い分野であり、連携した取り組みにつながり、又相乗効果もあったと思う。



○町として地域おこし協力隊の受け入れ体制は

中信

都会からの地域おこし協力隊は3年間の間で、地域に定住する為には地盤をつくって行かなければならない。とても大変な事だ。町としての支援は十分であったと考えておられるか。

町長

しっかり活躍して頂いた方なので本人の意に沿うよう努力している。

中信

観光分野の地域協力隊の井上さんは観光協会に就職され定住されたことは嬉しく思う。



中信

7月で任期満了になられる松永さんの今後の状況を伺いたい。

町長

ご本人の意に添う方向で努力をしていく。

○地域おこし協力隊の制度のPRを町民に

中信

町民に地域おこし協力隊の制度が周知されていると思えない。行政だけではなく地域でも活躍出来る制度でもともと、機会あるごとにPRをして頂きたい。

国の制度でとてもいい制度だ。

町長

平成27年度12月の広報でPRしている。

○今後の地域おこし協力隊の活用をどう考えておられるか

中信

地域おこし協力隊による町への実績があったと町長は評価されている。さらなる活性化のために地域おこし協力隊の活用が必要と考えます。

町長

現在のところ具体的に募集を行う事はしていないが、制度に則した効果が得られるか、任期満了後に定住化につながる取り組みになるか総合的に検討していく。



中信貴美代議員

○集落支援について

中信

中山間地域では限界集落や予備軍集落が出てきている。住民は不安をお持ちだ。喫緊の課題と思う。総務省が集落対策推進要綱を策定し、格別の配慮をお願いすると通達があったが町としての行動は。

町長

地域協議会の設立に三朝町は進んだ。地域協議会の会長を自立推進員として任命。それぞれ活動をして頂いている実績がある。

中信

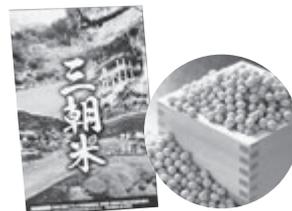
協議会の会長は役目多忙のため集落ごとに細かく巡回、点検等はなかなか出来ないと思う。集落の状況把握、課題や目配りを専門にして行動出来る集落支援員を配置して頂きたい。今集落の現状をどう思われるか。

町長

集落に今必要とされている部分については明確になった段階で相談して行く。

中信

6地域協議会単位で専門集落支援員の配置をして頂きたい。集落の活性化は地域の活性化、つまり三朝町の活性化の土台。そのためには集落が存続する方向を模索して、行政とつながる調整役がいると思う。集落支援員の配置を強く要望する。



農業

問 農業後継者育成の為の組織を考えるべきでは

答 町長) 少量多品目の推進、果樹の振興

答 農業委員会会長) 農業を守る為の組織の設立も有効

○農業従事者の高齢化対策

池田

農業従事者も人口減少のあおりをくらって、年を追うごとに高齢化している。その対策は。

○新しい体制づくり

町長

グリーンサービス、集落営農組織や認定農業者への農地の集積化を図り、意欲ある農家にも積極的に役割を担って頂こうと、水田農業担い手協議会を設立し、体制づくりをすすめている。

○遊休農地対策は

池田

奥部、限界集落と言われている地域に点在する遊休農地対策は。

○荒れるに任せない取り組み 会長

このような地区に於いては人口流出に歯止めがかからない状況にあり、耕作を断念された農家が多くある。そこで、こういった農家の方々の意向を伺う為の農家相談を定期的で開催し、農地を農地として利用、継承が図れるよう策を講じ、山林等に転用することも視野に入れながら耕作放棄地を増やさない施策を県と連携し協議を進め、荒れるに任せない取り組みを進めていきたい。

○若者を受け入れる組織

池田

農業に興味と意欲を持つ非農家の若者が増えてきているという調査結果があるが、こういった若者を農業会社に勤務するサラリーマンとして雇用し、農業を会得してもらい、将来的には、



池田雅俊議員

この三朝町で独立してもらおう為の組織を考えてみてはどうか。

○有効な制度

会長

新規就農者に対する助成制度、支援制度が県を通じて組み立てられており、その受け皿となり得る組織の一つがグリーンサービスだと考えている。町の農業を守る為の組織の設立も有効な制度ではないかと思う。その一方で、現行の制度を活用し、定住につなげていく為には、なりわいとして成り立つかが重要なポイントになる。

○根本的且つ重大な欠陥

池田

中学校の進路指導に根本的且つ重大な欠陥があり、なおかつ、授業内容にも見直す点が多々あるように思われるが。

教育長

夏休みまでには検証し、対処したい。

池田

「不合格は90%が学校の責任」という意識を持って進路指導、学習指導にあたり、町民に信頼されるよう願うものである。

教育

問 高校入試 大失敗の原因を問う

答 町長) 「答弁書」・・・回答なし

答 教育長) 「答弁書」・・・回答なし

《一般質問 解説》

三朝町議会に於いては、本会議開催の約2週間前までに通告、質問書を提出する事になっている。そして、本会議の一般質問の日に、執行部は議員に対し、答弁し、関連する追加質問にも答える、という形式をとっている。

池田

通告した質問書に対して答弁して頂きたい。「今年春の高校受験に於いて受験者の実に30%

の生徒が不合格だった事に関してどう考えているか。」

町長

残念であった。

教育長

進路については、最終的に、本人と保護者が決定する。本人が希望する高校受験に対し、学校として応援体制が不十分であったと思う。



三朝町社会福祉協議会
会長
遠藤 英臣

喜んでもらえる喜び

三朝町立福祉センターに、板画家の長谷川富三郎氏の作品が飾られている。平成4年、この施設の記念としてご寄贈いただいた大作で不動明王など5点である。見るたび、いつも私の心を和ませてくれる。

先生の作品は、三朝町誌などに挿絵として使われ、また、みささ美術館に常設展示された時期もあり、多くの方々の心に届いていたと思う。私も多くの作品に触れ、「心の持ち方」なども学ばせていただいた。

私の勤務する福祉センターは、ご高齢の方、障がいのある方など、多くの方々にお越しいただいている。そして笑顔での触れ合いがこちらこちらで見られる。その輪に加わるとき、先生の作品「ようこそ、ようこそ」「喜んでもらう喜び」が頭をよぎる。

相手に喜んでいただいたとき、あるいは、人々の笑顔を見るとき、私も笑顔になる。「心の通うそのとき」こそ、代えがたい幸せを実感できる。喜んでもらう喜びを常に心がけていきたい。

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石田恭二	吉田道明	池田雅俊	能見貞明	中信貴美代	山口博	清水成眞	藤井克孝	平井満博	山田道治	牧田武文	福田茂樹	結果
町長提出議案名 (6月定例会)														
37	専決処分の承認について（平成28年度三朝町一般会計補正予算（第9号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
38	専決処分の承認について（平成28年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
39	専決処分の承認について（三朝町税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
40	専決処分の承認について（三朝町国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
41	平成29年度三朝町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	平成29年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	平成29年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	三朝町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	三朝町職員の育児休業等に関する条例及び三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	三朝町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	財産の取得について（小型動力消防ポンプ積載車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	財産の取得について（除雪トラック）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
51～57	農業委員会委員の任命について（7件）													同意

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情	幸福実現党鳥取県本部	不採択	国民保護法の下、必要な訓練は既に実施されている。
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方自治体の担う役割は年々増加している中において、これに見合う地方財政を確立する必要がある。

発行責任者
編集長
福田茂樹
議会広報常任委員会
委員長 藤井克孝
副委員長 中信貴美代
委員 山田道治
委員 平井満博
委員 池田雅俊



（中信貴美代記）
きつと自然の景色に心が癒され、ホット一息。気持ちにチェンジ出来るのでは。毎日忙しい中、ちよつと回りを見てください。

あじさいの花が咲くと梅雨到来と気づく。今年は空梅雨と案じたが、田植え時期の水不足もどこへやら、青々とした例年の風景。震災でブルーシートが目立っていたが、晴天が続き、修理の進行が早く目立たなくなってきたがまだ被害の爪痕は残っている。町民の思いである復興が早く成し遂げられる事を願う。あじさいの花や四季折々の花、自然の景色が、日々の生活の潤いになっているのは私だけではないと思います。毎日忙しい中、ちよつと回りを見てください。

おわり
ちよつとちよつと